# ふれあい

第117号

社会福祉だより

■発行
社会福祉法人
**九重町社会福祉協議会**
九重町大字後野上17-1
TEL 0973-76-2500㈹
0973-76-3267
FAX 0973-76-3835
Eメール:smile9@oct-net.ne.jp
ホームページ: 九重町社会福祉協議会 検索

## *草刈りオールスターズ*

ささえあいサービスで、草刈りを担っている活動員の皆さんです。相互の精神で多くの方を笑顔にしてくれています。

# 令和７年度 九重町社会福祉協議会事業報告

## 生活支援・支え合い活動について

- いきいき夢サロン（618回　延べ4,584名）
- 多世代交流共生共食の場
  （東飯田地区 12回　690名、野上地区 12回　703名
  飯田地区 12回　704名、南山田地区 12回　743名）
- 軽度生活援助事業　106件　358.75時間
- ささえあいサービス事業　230件　485.93時間
  （くらしのサポートセンター東　287件　406.3時間
  くらしのサポートセンター飯田101件　263.21時間
  くらしのサポートセンター南　139件　394.6時間）
- ふれあいプラザサロン（49回　延べ556名）

## ボランティアセンター事業について

- ボランティア総会、役員会
- 基礎講座（５回　延べ120名）
- 手話奉仕員養成講座（20回　延べ189名）
- 献立検討委員会（６回　延べ29名）
- 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会（2回　延べ97名）など

## 介護予防事業について

- ほほ笑み教室
- 訪問型短期集中事業
- 通所型短期集中リハビリ教室

## 介護保険事業

- 通所介護事業
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 居宅介護支援事業

## 障がい者福祉サービスについて

- 障がい者ホームヘルプサービス事業
- 障がい者デイサービス事業
- 障がい者相談支援事業　など

## 地域福祉活動

- 福祉器具の貸出（50件）
- ふれあい備品貸出（59件）
- 無料法律相談所の開設（６日　23件）
- 障がい者年金相談所の開設（６日　３件）
- 生活福祉資金貸付事業（総合支援貸付　４件、緊急小口貸付　２件）

## 九重町地域包括支援センター

- 九重町地域包括支援センター（対応件数 4,510件）
- 総合相談支援業務（301件）
- オレンジフェスタ2025開催
- オレンジカフェ開催（22回　149名）
- 認知症サポーター養成講座（6回　延べ44名）

## 児童福祉について

- 子育て交流センター（254日開館、延べ8,662人）
- 児童館特別活動（46回、延べ524人）
- 児童ふれあい交流事業
- ブックスタート事業
- 図書、おもちゃ図書館　など

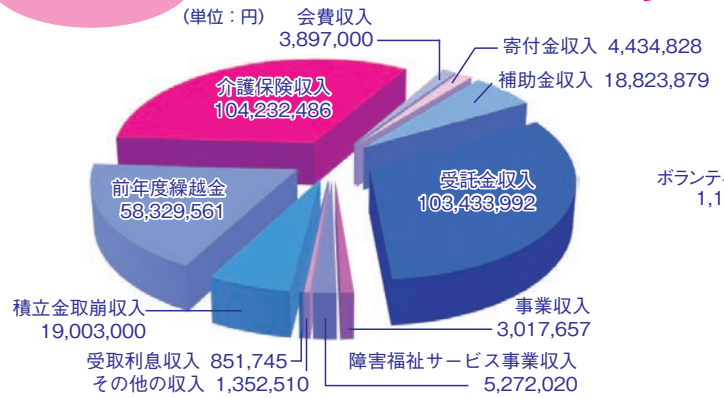
## その他の事業

- コスモスのつどいの実施（２回、延べ65名）
- 広報紙発行（「ふれあい」３回、「すまいる」９回
- ふれあい郵便事業（毎月約427名、延べ5,132名）
- 日常生活自立支援事業（187件支援）
- 生活困窮者自立支援事業（新規相談件数 54件）など

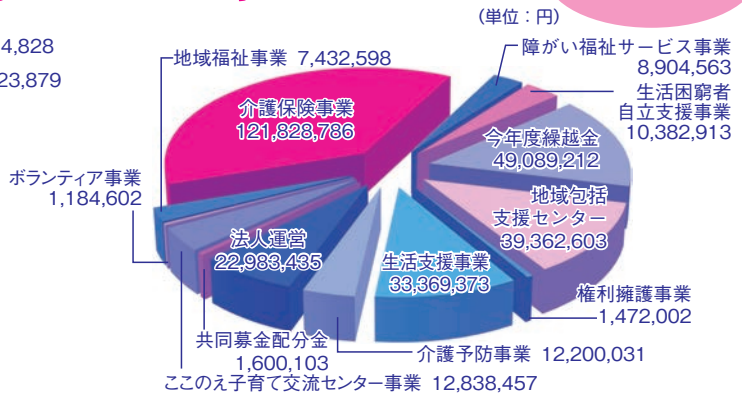
## 令和７年度 九重町社会福祉協議会収支決算書

決算額　**３億2,264万8,678円**

### 収入の部




### 支出の部




### ＜皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われました。＞

**（会　費）　3,897,000円**

- ボランティアセンター事業の一部 …… 548,776円
- 生活困窮者自立支援事業の一部 …… 85,087円
- 各種団体助成金 …… 976,000円
- 広報活動の一部 …… 416,807円
- 事務費等の一部 …… 1,870,330円

**（寄付金）　4,434,828円**

- 地域福祉活動推進事業の一部…… 526,228円
  （マイクロバス等の維持費、地域福祉活動等）
- 軽度生活援助事業の一部 …… 190,000円
- 生活支援事業の一部 …… 750,040円
- 事務費等の一部 ……2,968,560円

# 令和８年度 九重町社会福祉協議会事業計画

## 基 本 目 標

**基本目標1**　支え合いとふれあいのある地域づくり

1．地域共生・地域福祉の意識を育む
2．活動の場と交流・寄り合いの場づくり
3．地域共生・地域福祉の担い手づくり
4．ボランティア・支え合い活動の推進
5．共に生きる力・風土を育む福祉教育の推進

**基本目標2**　誰も取り残さない、安心して暮らせる地域づくり

1．相談しやすい体制と住民・多機関連携の推進
2．必要な支援が届く福祉サービス・住民活動の推進
3．必要な人への権利擁護の推進
4．緊急時や災害時に備える支え合いの推進

**基本目標3**　誰もがいきいきと暮らせる地域づくり

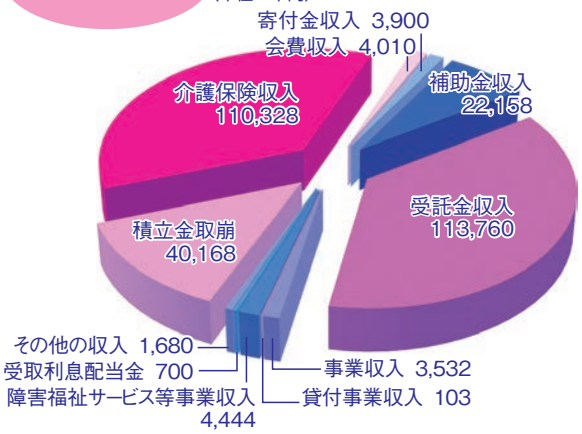
1．支援を必要とする人への自立支援
2．認知症と共に生きる地域づくり
3．つながりが生れる地域づくり

## 令和８年度 九重町社会福祉協議会当初予算

予算総額　**3億478万3千円**

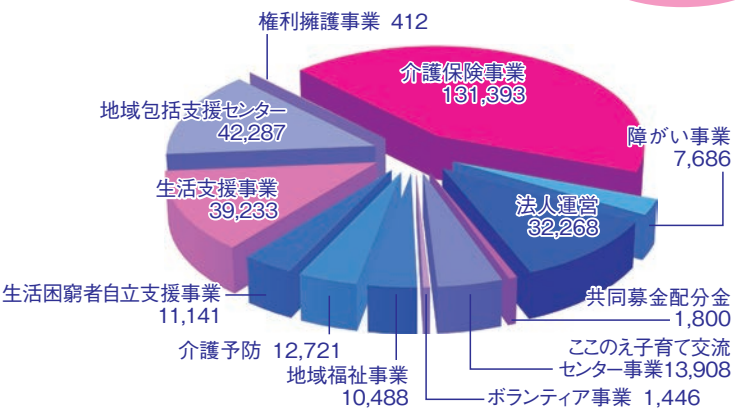
### 収入の部

（単位：千円）




### 支出の部

（単位：千円）




### ＜皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われます。＞

**（会　費）　4,010,000円**

- 生活困窮者自立支援事業の一部 …… 833,000円
- 各種団体助成金…… 1,984,000円
- ボランティアセンター事業の一部 …… 673,000円
- 事務費等の一部…… 520,000円

**（寄付金）　3,900,000円**

- 地域福祉活動推進事業の一部 …… 1,300,000円
  （地域福祉懇談会、マイクロバスの維持費等の一部）
- 広報誌発行等 …… 460,000円
- 軽度生活援助事業 …… 240,000円
- 生活支援事業の一部 …… 744,000円
- 事務費等の一部 …… 1,156,000円

**令和8年度もご支援ご協力を**
**よろしくお願いいたします。**

## ～誰もが安心してくらし続けられる共生の地域をめざして～
# ささえあいサービス（表紙写真）

高齢・障がい・子育て世帯などで、地域で生活を続ける上で困りごとがあり、他に代替手段がないため支援を必要としている方を対象に、自宅周りの草刈り・庭木の剪定・ゴミ出し・通院付添・買物付添・受薬代行・窓ふき・換気扇掃除・子育て支援など、生活の中のちょっとした困りごとを、同じ地域に住む仲間として、お互い様の気持ち・互助の精神で行う有償ボランティアの活動です。活動では、困りごとを抱えた方々ができる限り在宅生活を続けられるよう、日々活動員の活躍で、多くの方々を笑顔にしてくれています。

※一緒に活動してくれる活動員の方を募集しています。

＜貸出しています＞
- ●本　3400冊
- ●ＤＶＤ　100枚
- ●おもちゃ　170個

赤ちゃん、幼児、小学生が楽しめるおもちゃと絵本がたくさんありますよ～！

## ここのえ子育て交流センター

☎0973-73-2666／FAX0973-73-2670

## 活動の紹介

### ■リズムトレーニング

今年度は、幼児クラスと小学生クラスが各1クラス、年間6回で開催中です。体力学校の河野先生は、子どもたちが楽しく取り組めるように様々な工夫をしてトレーニングをしてくれます。挨拶や姿勢などの大切なこともご指導くださり、みんなとても良い笑顔で頑張っています。

リズムトレーニングをした子どもたちの成長には目を見張るものがあります。これからが楽しみです☆

幼児クラス

小学生クラス

### ■ベビーニコニコ広場

毎月第2水曜日は「ベビーマッサージ」、第4火曜日は「絵本の日」を開催しています。手遊び歌やわらべ歌、マッサージでお子さんとの触れあいを楽しみませんか？ママとのスキンシップは、子どもたちの発語や身体の発達、情緒の安定に効果的です♪

絵本の日

～共に支えあう活動を目指して～

# くらしのサポートセンター活動報告

## くらしのサポートセンター東

地域で暮らす「夢ステーション」の利用者さんが、活動会員となり３年目となりました。障がいがあっても得意なことやできることで参加し、活躍の場や地域の力となっています。笑顔で作業する姿はとても頼もしく、草刈りについて教えてくれる場面もありました。

彼らの存在は活動継続の支えとなり、活動を通して交流を深める事で東飯田の地域づくりにつながっています。

※生活支援活動だけでなく地区行事等にも参加しています。

## くらしのサポートセンター飯田

冬場に70歳以上の世帯を対象として行っていた家具転倒防止活動は、今年度から年間を通した活動として行っていくことに決まりました。

地震の時、家具が倒れてこないか心配…。自分で器具を取り付けたが、これで大丈夫か…。そんな不安はありませんか？地震が多く、揺れも大きい飯田だからこそ地震への備えをしておきませんか？

また、火災報知器の動作確認も行っています。家具転倒防止活動の依頼から、皆さんの日常のちょっとした困り事もご相談いただければと思います。

## くらしのサポートセンター南

くらしのサポートセンター南は、「誰もが安心して住み続けられる支え合いの地域づくり」を目指して、草刈りや外出支援などの活動を毎月発行の広報紙で紹介しながら利用会員や活動会員の増員につなげてきました。

また、出張寄合いカフェを各地区の公民館等で実施して、パンフレットを用いてくらサポ活動の説明や利用案内を行っています。この春、カフェを実施した栗原地区、相狭間地区では、毎月のサロン活動の立ち上げにつなげることができました。

# のがみ☺ふれあい食堂　～参加者の笑顔のために～

毎月、町内各地区で工夫を凝らして開催されている多世代地域食堂。子どもから高齢者まで誰でも参加できる地域の『寄り合いの場』として親しまれています。

そのなかで、毎月第一土曜日に開催している『のがみ☺ふれあい食堂』は今年で設立から８年目を迎えました。最近は食堂の認知度も高まり、この１年間で参加者が大幅に増加しました。その背景には、参加者を笑顔で迎え、笑顔で帰ってもらう為に多くの方がそれぞれの立場で活躍されています！

吉武　秀樹さん

参加したいけど移動手段がない方の為に送迎を担ってくれています。送迎の依頼は社会福祉協議会にご相談ください！

高倉　直人さん

けん玉・こまの名人として子どもから高齢者まで誰にでも優しく教えてくれます。
奥さんの町子さんは調理のスタッフとして参加しており、夫婦で大活躍です！

野上　香代子さん

毎月、自宅で愛情込めて作ったたくさんの野菜を提供してくれます。長年調理のスタッフを担ってくれています！

調理スタッフのみなさん

毎月、70人分もの豪華なお昼ご飯を作ってくれているボランティアさんです。盛り付けや彩りにもこだわっています！

ボランティアの高校生

高校生ボランティアとして、会場設営、受付、レクリエーションの補助など最初から最後まで運営のお手伝いをしてくれています。彼女たちも小さい頃からのがみふれあい食堂に参加しており、今では立派なスタッフです！

参加者の笑顔のために、たくさんの方が見えないところで活躍しています。

のがみ☺ふれあい食堂では一緒に活動を盛り上げてくれる仲間を随時募集しています。少しでも興味がある方は社会福祉協議会までお問い合わせください。

☎76-2500

# 九重町地域包括支援センター便り

## 地域包括支援センターってどんな仕事をしているの？

地域包括支援センターは、介護保険法に基づき、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、各市区町村に設置されています。

地域包括支援センターでは、大きく分けて４つの業務を行っています。

1. 介護予防ケアマネジメント業務
2. 権利擁護業務
3. 総合相談・支援業務
4. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

九重町包括では、これらに加えて、認知症関連の業務も行っています。

九重町包括には、保健師・介護支援専門員・社会福祉士・認知症地域支援推進員等の専門職がいます。今回は、社会福祉士の仕事についてご紹介します。

---

社会福祉士は、高齢者に対する虐待や悪質な訪問販売、成年後見制度利用支援など、高齢者の生活や人権を守るための権利擁護業務を行います。

### ①高齢者に対する虐待

速やかに当該高齢者の状況を把握し、町担当課と連携して適切な対応を行います。

■虐待の種類

●身体的虐待　●介護・世話の放棄・放任
●心理的虐待　●性的虐待　●経済的虐待

### ②高齢者の消費者被害

本人や家族からの消費者被害の相談を受け付け、町担当課や消費生活センター等の専門窓口へ連絡・引継ぎを行います。また、各関係機関と連携し、被害の兆候を早期に察知します。

### ③成年後見制度利用支援

判断能力の低下がみられる場合、適切なサービスの利用、金銭管理、法律的行為などの支援のため、制度の活用を図ります。

■成年後見制度

●法定後見制度

判断能力が低下した後、親族等の申立により家庭裁判所の審判で後見人等が決定する

●任意後見制度

判断能力が低下する前に、事前の契約（公正証書）で任意後見人を決めておく

権利擁護に関して
お気軽にご相談ください

## 認知症関係事業のお知らせ

九重町包括では、九重町と協力して、認知症になっても安心して暮らせる町を目指し、様々な認知症施策に取り組んでいます。

### ■ものわすれ相談室

「最近、もの忘れが気になる」
「認知症の予防がしたい」
「自分の脳の健康度を知りたい」
など、認知症地域支援推進員が個別に相談を受けます。

・東飯田公民館（偶数月第1水曜日）
・野上公民館（偶数月第1火曜日）
・飯田公民館（奇数月第1木曜日）
・南山田公民館（奇数月第1金曜日）
※時間　10：00～11：30
※無料

脳の健康度を
チェックする
のうKNOW

脳の健康度は、専用のタブレットを使用して測定します。

皆さんの参加をお待ちしています。

《 介護予防・認知症・権利擁護に関するご相談は 》

**九重町地域包括支援センター**　電話：0973-76-3863　FAX：0973-76-3835

# ここのえ 介護事業センター

住み慣れた地域で安心して暮らすために

**職員が力を合わせ、皆さまの暮らしを支えています。**

## 居宅介護支援（ケアマネジャー）

介護に関する相談を受け、利用者様に合ったサービスを一緒に考え、安心して生活できるよう支援します。

**こんなお困りがある方へ**

- 介護の相談をしたい
- どんなサービスが必要かわからない

## 通所介護（デイサービス）

日帰りで通っていただき、入浴・食事・レクリエーションなどを楽しみながら、心と体の元気づくりを行います。

**こんなお困りがある方へ**

- 人と交流したい　・お風呂に入りたい
- メリハリのある生活を送りたい

## 訪問介護（ヘルパー）

ケアマネジャーが作った計画を基に、ヘルパーがご自宅を訪問し、食事・掃除・買い物など日常生活のお手伝いを行います。

**こんなお困りがある方へ**

- 一人暮らしに不安がある
- 家事や買い物、調理が難しくなってきた
- 離れて暮らす親の生活が心配である

## 訪問入浴介護

専用の浴槽を、ご自宅に持参し、ベッドの横などで看護師・介護職員が安全に入浴を行います。

**こんなお困りがある方へ**

- 自宅でお風呂に入りたい
- 自宅浴槽のまたぎが難しくなった
- 家族の負担を減らしたい

ご相談・お問い合わせはこちらまで

**電話　76－3267**

お気軽にご相談ください。

**★季節のクイズコーナー★**

夏の風物詩「かき氷」。
昔は何と呼ばれていたでしょう？

**①夏雪　②氷水　③削り氷**

（答えは次のページ）

# あたたかい心の輪

## ◎香典返し（二十二件）

▽三月
・三万円也　亡父　省二　九重山
・十万円也　亡妻ヨシミ　南恵良
・金一封　亡夫惣三郎　佐藤歌子様
・三万円也　亡父　英昭　甲斐悦郎様
・二万円也　亡義弟　手島正年　森　幸一様

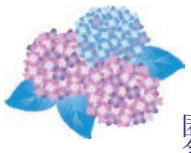
▽四月
・二万円也　亡母　清子　湯坪下
・三万円也　亡夫　文明　後河内
・十万円也　亡夫　優一　日野智子様
・金一封　亡母マサ子　楳木恵美様
・金一封　亡母ムツ子　滝上
・三万円也　亡母キノエ　奥野
・二万円也　亡母久美枝　北恵良三
・金一封　亡母　久子　中央四
・三万円也　亡母イトエ　菅原
・三万円也　亡母ユリコ　重原
匿名希望様　一名

▽五月
・一万円也　亡妻　俊子　麻生釣
・五万円也　亡叔父高田究一　前辻一
・金一封　亡母　季香　中村中二
・三万円也　亡父　賢大　生竜
・三万円也　亡母　都　書曲二
・金一封　亡母ハツ子　南恵良
・三万円也　平　猶法様　日野健二様
・金一封　佐藤勝樹様　木下義之様
・三万円也　吉光幸広様　高橋久徳様
・金一封　野上清人様
・五万円也　泥よこい　歌と踊りの祭典　実行委員会
匿名希望様　一名

## ◎特別寄付（二件）

・歩行器　小園　胤末　淳様
・布団他　潜石　佐藤宏之様
・玄米六〇キロ　田中様
・玄米三〇キロ　匿名希望様

## ◎物品寄付（四件）



## ありがとうございます。

令和8年3月～令和8年6月までの間に次の方から香典返し等のご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申しあげます。ご寄付のご厚志は社会福祉の推進のため、有意義に活用させて頂きます。

ご寄付頂いた方々にご了承いただき、お名前や金額等を記載しています。ご希望により省略する場合もあります。（受付順・敬称略）

**ご寄付頂いた物品はデイサービスや地域ふれあい食堂で利用させて頂きます。**

## ありがとうございました

季節のクイズの答え：③削り氷

# 季節の植物【シュロ】

佐藤　三千代（みちしろ）

シュロは3、300種の大変大きなヤシ科シュロ属の植物で大部分は熱帯から亜熱帯に自生しています。

日本では四国、九州、沖縄に分布しており、葉柄が長く葉身が軟らかで裂片の先が垂れ鞘繊維は強靭で水質に強く垣や植木の縄によく用います。シュロ縄は特に強く有用なものです。箒、たわし、みの、刷毛、下駄の緒、桶の紐に用いています。若葉はパナマ帽、ハエたたきに、材は建材として、花は食用にされたこともありました。また、葉を細く割いてチマキを結ぶ紐にします。

昔、鞘繊維を採取し、しゅろん皮（毛）にして小遣い銭とし、タバコややつがい（晩酌）代にするため、筑後方面からのシュロ細工業者を待っていました。現在は、シュロも残り少なくなりました。

トウジュロ（中国南部原産）は、葉柄が短く葉質が硬くシュロのように垂れ下がらなくて、庭木に多用されています。

●その他の日本のヤシ科にはビロー（九州、四国、奄美、沖縄）クロツグ（南九州、奄美、沖縄八丈島）各地の観光地、植物園、街路樹などに植えられる大型ヤシはフェニックス、ワシントンヤシ、ダイオウヤシなどがあります。小形のヤシのトウは茎を割いて椅子などの細工物として利用されています。

東南アジアでは、食用油を採るためのアブラヤシが一斉造林されて、野生動物の生活に影響が出ており、大きな社会問題となっています。

シュロ

## 今月のちょっと一言

暑さが増す季節となりました。朝顔やセミの声に心が和みます。夕暮れに響くセミの声に、どこか懐かしい気持ちになり、「昔は子どもたちの元気な声が響き、地域の夏祭りや盆踊りが楽しみだった」という思い出がよみがえる方もいるでしょう。

これからの暑い季節は、つい我慢をしてしまいがちですが、無理をせず、こまめな水分補給と休憩を心がけることが大切ですね。そして一番大事なのはご近所同士で「元気ですか～」と声を掛け合うことだと思います。これからも地域のつながりを大切にしながら、笑顔で元気に過ごしましょう。

（野上　香代子）

## シリーズ 町の幸齢者（こうれいしゃ）さん

九重町で90歳を過ぎて生き生きと暮らしている高齢者の方＝幸齢者（こうれいしゃ）の方に元気の秘訣（ひけつ）をお伺いします。

NO.34　飯田　旭

### 滝石レイ子さん（91歳）

**Q. 家ではどんな仕事をしていますか？**

A. 今は、近くの山の草切り。鎌を６種類持っていて使い分けるんよ！他には冬の間に割った焚き物をなおしたり、小豆植えをしたり忙しくしよるよ。

**Q. 元気の秘訣は何ですか？**

A. なんでん食べることやね！あとは、身体を動かすこと！

**Q. これかも頑張りたいなと思うことは？**

A. 元気が良い間は、焚き物は割らんといかんきなぁ…。仕事は止めん！できるまでやるよ！

力強く鉈を振り下ろして焚き物を割る様子も見せて頂きました。みんなの元気を吸い取るくらい元気なレイ子さん。これからもたくさんのパワーを地区のサロンの方にお届けしてください。

「幸齢者さん」の情報は、九重町社会福祉協議会（76-2500）までお電話を！自薦・他薦は問いません♪お待ちしています！